



依田明善 (幹事長代理・政策審議会議長)  
花岡賢一 (副広報企画委員長)  
山岸喜昭 (副代表)  
今井愛郎 (副広報企画委員長)  
竹内久幸 (相談役)  
荒井武志 (広報企画委員長)  
下沢順一郎 (代表)  
小林東一郎 (政務調査会長)  
高橋 宏 (顧問)  
堀場秀孝 (財務委員長)  
小島康晴 (代表代行)  
埋橋茂人 (副政策審議会議長)  
石和 大 (幹事長)  
寺沢功希 (副政務調査会長)  
( )内は会派役職

**6月定例  
県議会**

**総額6億9千万円余を補正  
飯山市に砂防堰堤を設置へ**

6月22日に開会した6月定例県議会は、7月7日までの本会議で、飯山市の山腹崩落災害への対応や県立大学の運営費など総額6億9千万円余の一般会計補正予算案や県立大学に係る評価委員会条例案・入学者等徴収条例案・定款を制定する事件案など知事提出の16議案を審議、いずれも原案どおり可決しました。

このほか、我が会派提出の地方財政の充実・強化や地域公共交通に対する支援の充実、義務教育の充実、ストーカー対策の拡充、公共事業等における国産材の活用に向けた施策の更なる推進を求める意見書案など議員提出の11議案を可決しました。

**補正予算のポイント**

- 飯山市井出川山腹崩落災害への対応  
土石流災害から住民の生命・財産を守るための砂防堰堤を設置 5億5000万円
- 山岳遭難防止のための取組 779万円

山中でのパトロール活動の強化や遭難リスク表示マップの作成など 530万円

**教育環境の充実**

公共交通機関(しなの鉄道)を活用した探求的な学習活動の推進、県内高校生を対象 189万円

**地域経済の活性化**

県内企業と大都市圏の専門人材とのマッチングを実施 2000万円

**消防防災航空隊殉職者の顕彰**

殉職された消防防災航空隊員の功績を顕彰 1億2240万円

**選挙区等調査特別委員会**

委員会は、5月25日に「佐久市・北佐久郡」と「小諸市」29日に「下伊那郡」と「飯田市」、30日に「東筑摩郡」と「松本市」、6月2日には「上水内郡」と「長野市」及び「飯山市・下高井郡」と「中野市」の各地に出向き現地調査を行いました。

**進めよう議会改革!!**

「合区はやむを得ない」「合区は反対、現状維持を」「人口比率のみの定数配分は疑問」「合区は了解する」「郡の分区を決定しました。」

開催し、慎重審議の中7月4日の第15回委員会で、上水内郡及び東筑摩郡をそれぞれ長野市、松本市に合区することを決定しました。

定数1減については、各会派での議論を更に深めつつ9月定例会前に委員会を再開し結論を見出すことになりました。

**次期総合5か年計画の策定に向けて**

長野県政の羅針盤ともいえる「総合5か年計画」。いよいよ次の5年に向けての策定作業が始まりました。

すでに私たち県議会において、各会派から委員が選ばれ「長野県議会総合5か年計画研究会」が立ち上がっています。7月4日には3回目の

**県政対話集会在飯田**



- ・開催しました。
- ・地元飯田市区選出の島康晴代表代行の進行のもと、下沢代表のあいさつ、出席県議の自己紹介ののち早速意見交換に入り、参加者110人の中から、13名の方に質問やご要望を発言いただきました。
- ・食品産業の研究費への支援の拡充
- ・道路拡幅事業の実施時期等の明確化
- ・鳥獣被害(とりわけカラス)への対策強化
- ・生産年齢人口確保と移住の取組
- ・保育人材の確保と処遇の改善
- ・森林保全へ保険の仕組みの検討
- ・大北森林組合問題の解決
- ・消防防災ヘリの今後の取組
- ・人間の温かみを生かした観光の振興
- ・あいさつ運動の推進
- ・公共交通運転手の確保
- ・県内都市間交通(高速バス)の充実
- ・介護人材の確保
- ・小学校の英語教育への対応 など。
- ・担当議員から、その場でできる限りの見解をお答えしましたが、提出いただいたアンケートも含め今後の会派活動の中でしっかり取り組んでまいります。

**9月定例会日程(予定)**

- ▽9月21日 開会
- ▽26(29)日 一般質問
- ▽10月2(4)日 委員会審議
- ▽6日 採決・閉会